

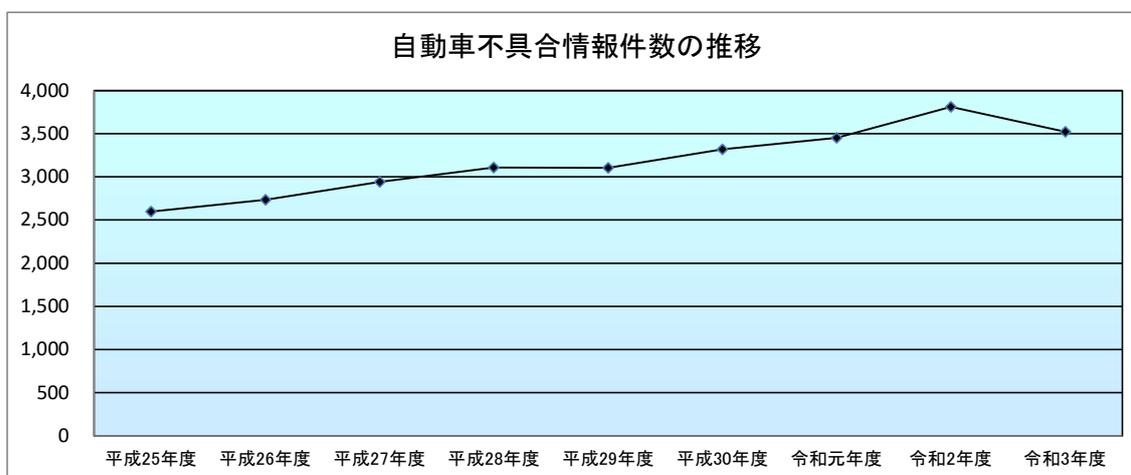
令和3年度の自動車不具合情報の統計結果について

国土交通省の自動車不具合情報ホットライン (<https://www.mlit.go.jp/jidosha/carinf/rcl/hotline.html>) に自動車ユーザー等から寄せられた自動車の不具合情報について、令和3年度の統計結果をとりまとめたので公表いたします。

なお、本自動車不具合情報は、設計又は製造に起因するものに限られておらず、整備不良やユーザーの誤使用等に起因する可能性があるものも含まれています。また、本統計はあくまでもユーザーの申告による不具合情報を元にしており、国土交通省として不具合情報の内容について事実関係を保証しているものではありません。

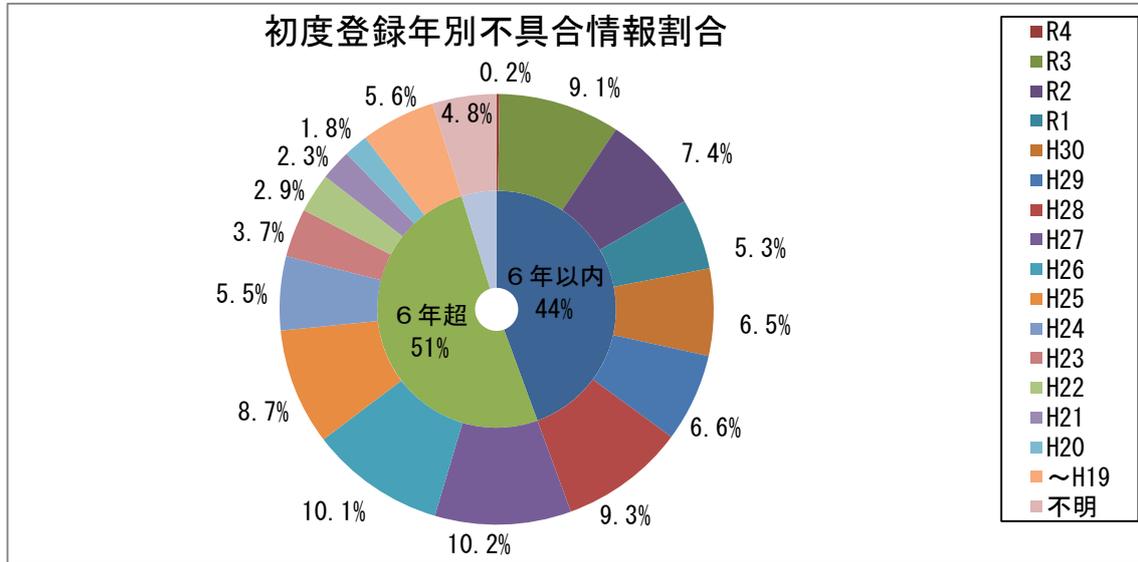
1. 令和3年度に国土交通省の自動車不具合情報ホットラインに寄せられた情報の件数は5,973件であり、そのうち有効な自動車不具合情報件数は3,522件であった。

件数の推移をみると平成25年以降令和2年度までは緩やかな増加傾向であったが、令和3年度は減少に転じている。

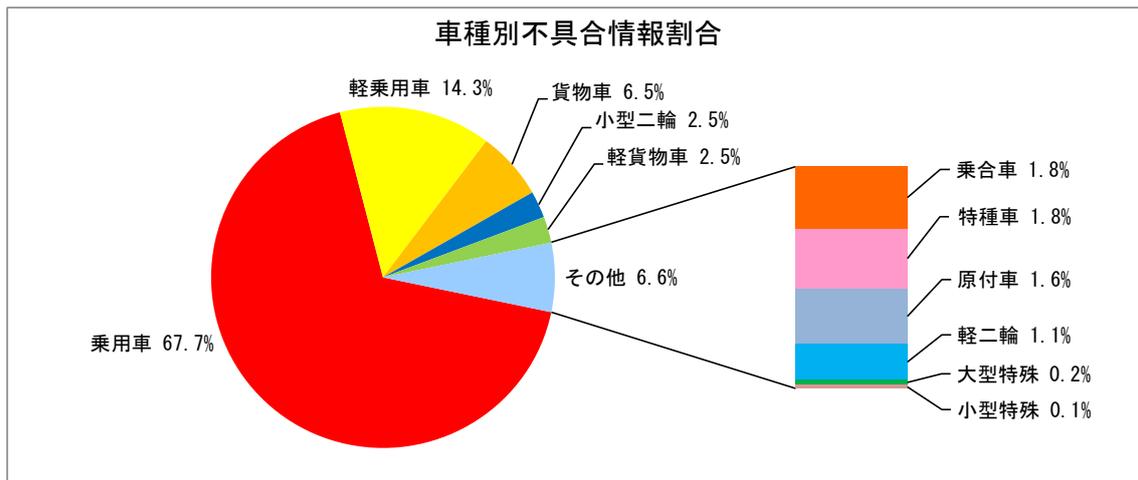


年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
件数	2,597	2,733	2,943	3,110	3,105	3,317	3,452	3,811	3,522

2. 初度登録年別（軽自動車にあっては初度検査年。以下同じ。）の不具合情報件数は、初度登録年が平成27年の自動車が358件(10.2%)と最も多く、次いで平成26年の自動車が355件(10.1%)となっている。初度登録後6年以内の自動車に関わる不具合情報件数と6年超経過した自動車（不明を除く。）に関わる不具合情報件数を比較すると、大きな差はなく、6年超の件数が若干多くなっている。

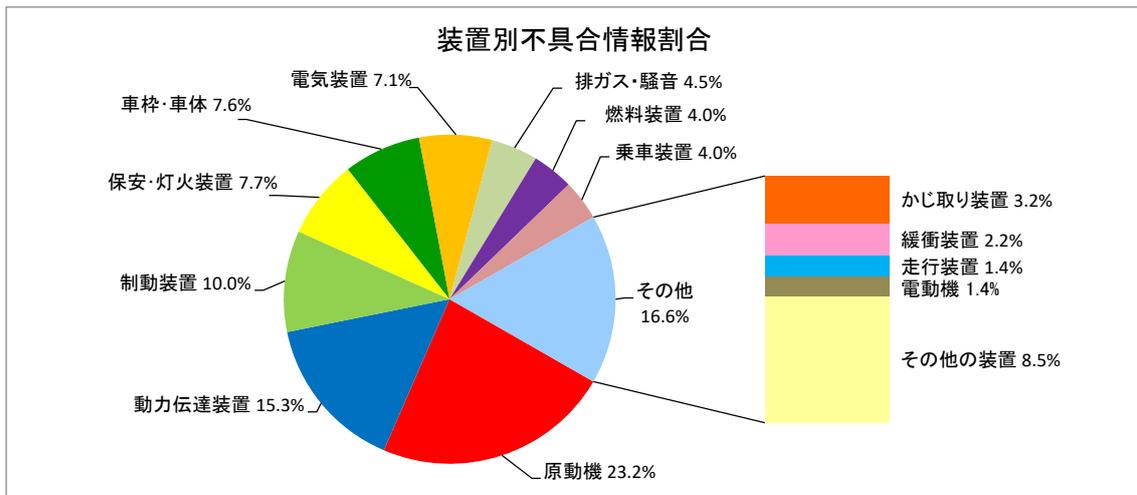


3. 車種（用途）別の不具合情報件数は、「乗用車」が2,384件(67.7%)と最も多く、次いで「軽乗用車」が503件(14.3%)、貨物車が228件(6.5%)の順となっている。



4. 装置別の不具合情報件数は、「原動機」が816件で全体の23.2%と最も多く、次いで「動力伝達装置」が539件(15.3%)、「制動装置」が351件(10.0%)の順となっている。

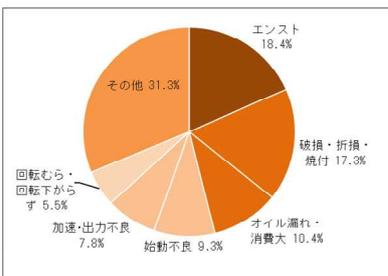
これら不具合情報件数の多い装置分類の上位3種について不具合事象をみると、件数上位に、原動機では「エンスト」「破損・折損・焼付」、動力伝達装置では「異音」「走行不能」、制動装置では「制動力不足」「液・空気漏れ」といった走行安全性に関わる重大な事象が占めており、件数の中位には「オイル消費大」「変速ショック」や「異音・鳴き」といった快適性・商品性に関わる事象が挙げられている傾向がみられる。



装置別	原動機	動力伝達装置	制動装置	保安・灯火装置	車枠・車体	電気装置	排ガス・騒音	燃料装置	乗車装置	かじ取り装置	緩衝装置	走行装置	電動機	その他の装置	合計
件数	816	539	351	272	266	250	160	142	140	113	78	48	48	299	3,522

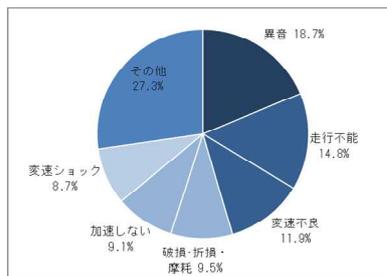
不具合の多い装置分類 上位3種

1. 原動機



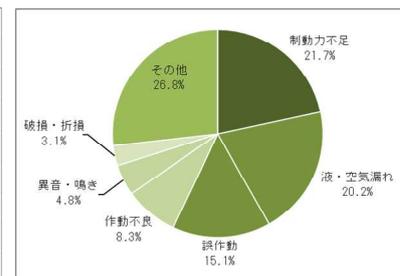
順位	不具合事象	件数
1	エンスト	150
2	破損・折損・焼付	141
3	オイル漏れ・消費大	85
4	始動不良	76
5	加速・出力不良	64
6	回転むら・回転下からず	45
	その他	255
	合計	816

2. 動力伝達装置



順位	不具合事象	件数
1	異音	101
2	走行不能	80
3	変速不良	64
4	破損・折損・摩耗	51
5	加速しない	49
6	変速ショック	47
	その他	147
	合計	539

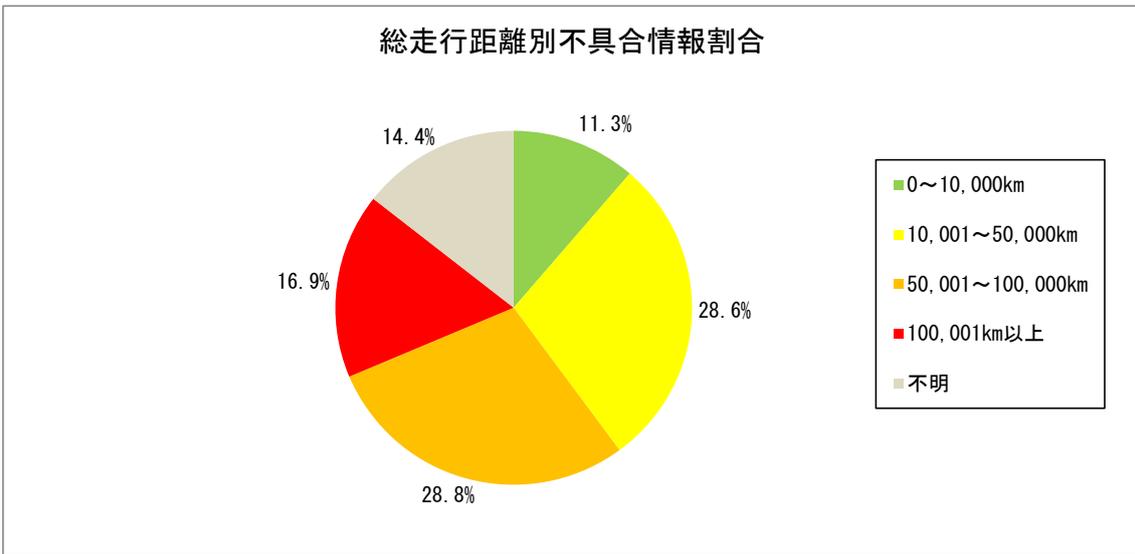
3. 制動装置



順位	不具合事象	件数
1	制動力不足	76
2	液・空気漏れ	71
3	誤作動	53
4	作動不良	29
5	異音・鳴き	17
6	破損・折損	11
	その他	94
	合計	351

5. 総走行距離別の不具合情報件数は、「5万km超10万km以下」が1,013件(28.8%)と最も多く、次いで「1万km超5万km以下」が1,007件(28.6%)、「10万km超」が596件(16.9%)、「1万km以下」が398件(11.3%)の順となっている。

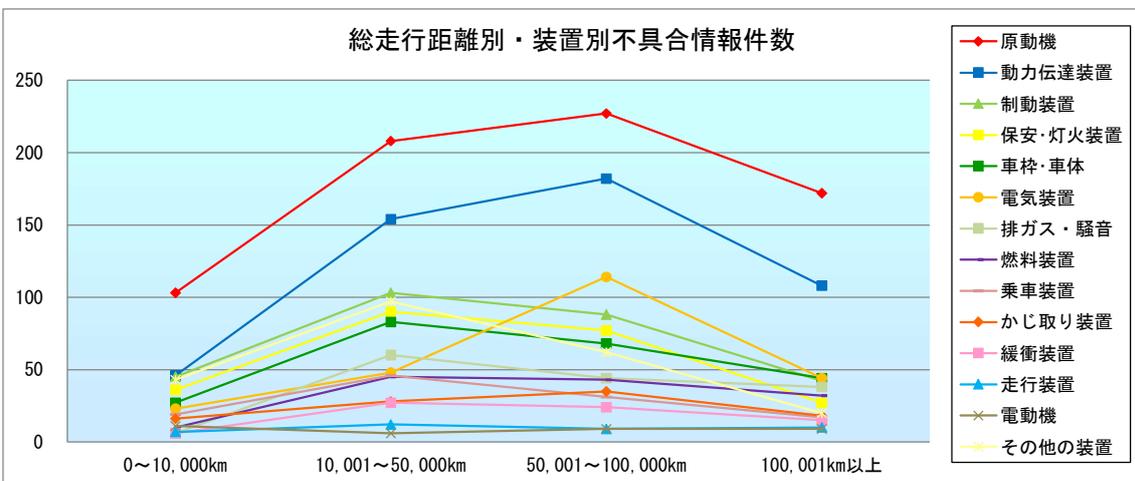
5万km以下と5万km超の不具合情報件数とを比較すると、後者の不具合情報が多く寄せられている。



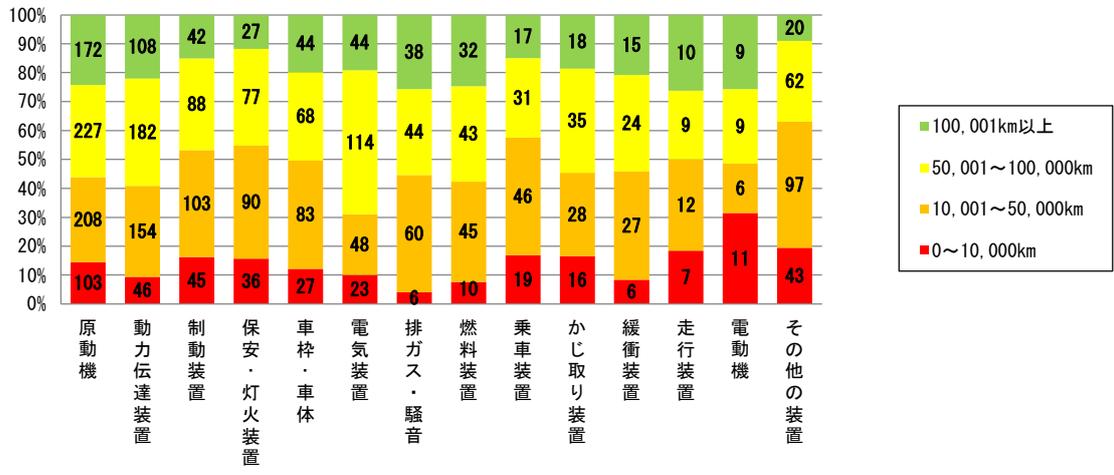
総走行距離別	0~10,000km	10,001~50,000km	50,001~100,000km	100,001km以上	不明	合計
件数	398	1,007	1,013	596	508	3,522

6. 総走行距離別・装置別の不具合情報件数をみると、装置別不具合件数上位3種について、「原動機」および「動力伝達装置」は5万km超10万km以下の不具合情報件数が最も多く、「制動装置」は1万km超5万km以下の不具合情報件数が最も多くなっている。

また、不具合情報割合をみると、「保安・灯火装置」「乗車装置」は5万km以下の比較的総走行距離が少ない早期に不具合情報が挙げられる傾向がある。



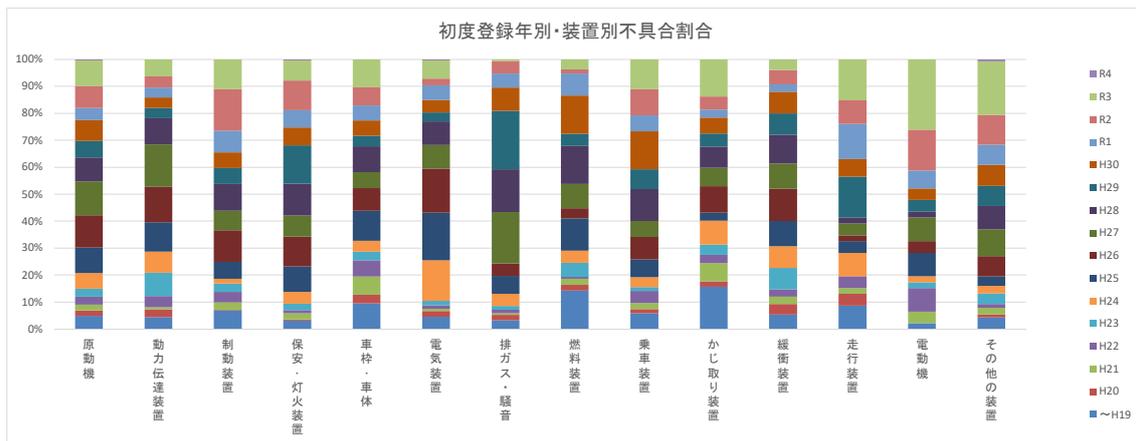
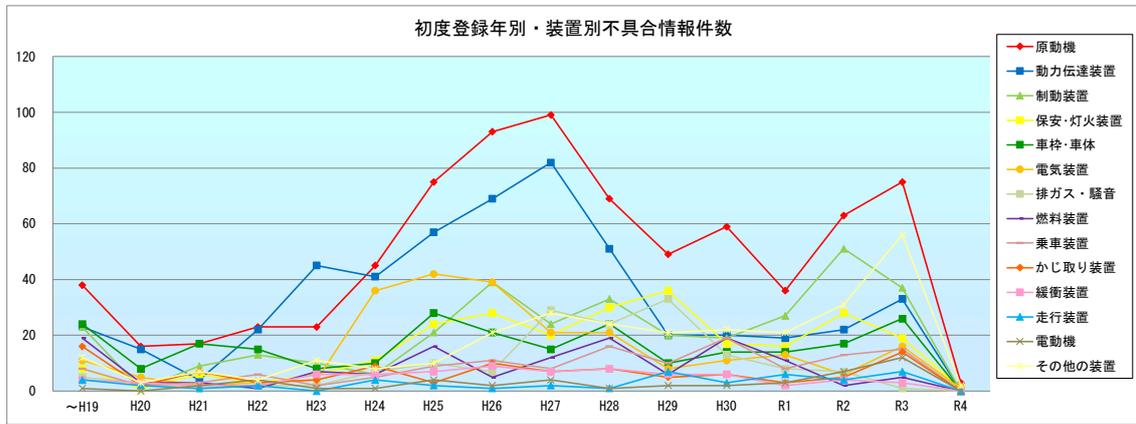
総走行距離別・装置別不具合割合



(件)

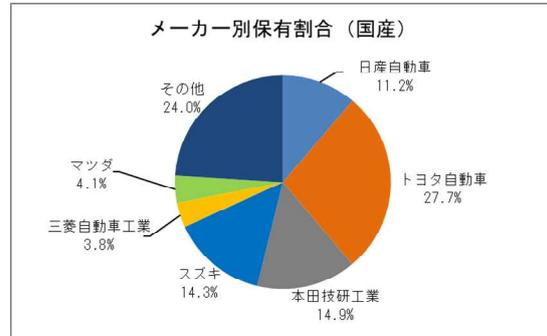
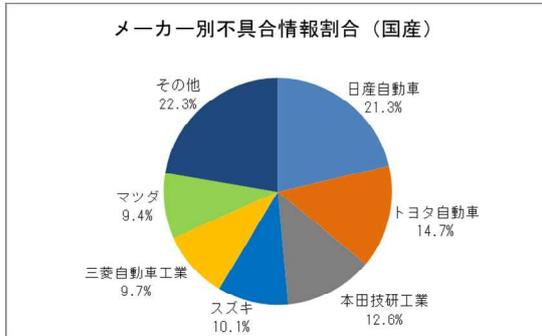
総走行距離別 装置別	0~10,000km	10,001~50,000km	50,001~100,000km	100,001km以上	不明	合計
原動機	103	208	227	172	106	816
動力伝達装置	46	154	182	108	49	539
制動装置	45	103	88	42	73	351
保安・灯火装置	36	90	77	27	42	272
車枠・車体	27	83	68	44	44	266
電気装置	23	48	114	44	21	250
排ガス・騒音	6	60	44	38	12	160
燃料装置	10	45	43	32	12	142
乗車装置	19	46	31	17	27	140
かじ取り装置	16	28	35	18	16	113
緩衝装置	6	27	24	15	6	78
走行装置	7	12	9	10	10	48
電動機	11	6	9	9	13	48
その他の装置	43	97	62	20	77	299
合計	398	1,007	1,013	596	508	3,522

7. 初度登録年別・装置別の不具合情報件数をみると、全体として初度登録H26、27、28年の件数が多くなっているが、「電動機」は初度登録R3年にピークがあり、他の装置種別と比べて早期に不具合情報が挙がってくる傾向がみられる。



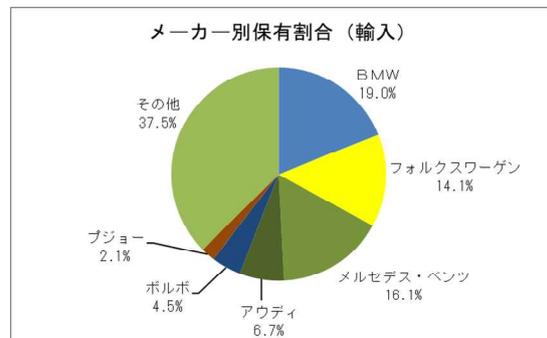
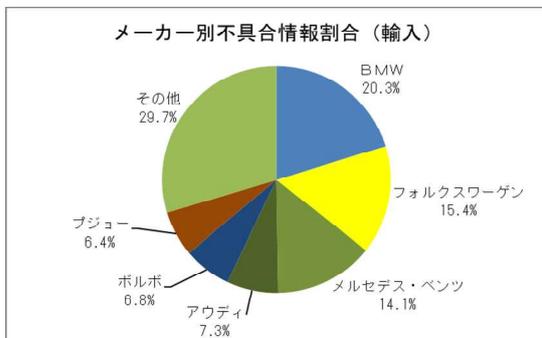
装置別	初度登録年別																	不明	総計
	～H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4			
原動機	38	16	17	23	23	45	75	93	99	69	49	59	36	63	75	3	33	816	
動力伝達装置	23	15	4	22	45	41	57	69	82	51	20	20	19	22	33	0	16	539	
制動装置	23	1	9	13	10	6	21	39	24	33	20	19	27	51	37	0	18	351	
保安・灯火装置	8	1	6	3	6	11	24	28	20	30	36	17	16	28	19	1	18	272	
車枠・車体	24	8	17	15	8	10	28	21	15	24	10	14	14	17	26	0	15	266	
電気装置	11	5	2	3	4	36	42	39	21	21	8	11	13	6	16	1	11	250	
排ガス・騒音	5	3	1	2	2	7	10	7	29	24	33	13	8	7	1	0	8	160	
燃料装置	19	3	3	1	7	6	16	5	12	19	6	19	11	2	5	0	8	142	
乗車装置	8	2	3	6	2	5	9	11	8	16	10	19	8	13	15	0	5	140	
かじ取り装置	16	2	7	3	4	9	3	10	7	8	5	6	3	5	14	0	11	113	
緩衝装置	4	3	2	2	6	6	7	9	7	8	6	6	2	4	3	0	3	78	
走行装置	4	2	1	2	0	4	2	1	2	1	7	3	6	4	7	0	2	48	
電動機	1	0	2	4	1	1	4	2	4	1	2	2	3	7	12	0	2	48	
その他の装置	12	3	7	4	11	8	10	21	28	24	21	22	21	31	56	2	18	299	
合計	196	64	81	103	129	195	308	355	358	329	233	230	187	260	319	7	168	3,522	

8. メーカー別の不具合情報件数をみると、国産車メーカーでは日産自動車が571件(21.3%)と最も多く、次いでトヨタ自動車が395件(14.7%)、本田技研工業が337件(12.6%)の順となっている。また、輸入車メーカーではBMWが170件(20.3%)と最も多く、次いでフォルクスワーゲンが129件(15.4%)、メルセデス・ベンツが118件(14.1%)の順となっている。



順位	メーカー名	件数
1	日産自動車	571
2	トヨタ自動車	395
3	本田技研工業	337
4	スズキ	270
5	三菱自動車工業	260
6	マツダ	252
	その他	599
	合計	2,684

順位	メーカー名	台数 (千)
4	日産自動車	8,651
1	トヨタ自動車	21,453
2	本田技研工業	11,551
3	スズキ	11,066
6	三菱自動車工業	2,917
5	マツダ	3,181
	その他	18,554
	合計	77,374



順位	メーカー名	件数
1	BMW	170
2	フォルクスワーゲン	129
3	メルセデス・ベンツ	118
4	アウディ	61
5	ボルボ	57
6	プジョー	54
	その他	249
	合計	838

順位	メーカー名	台数 (千)
1	BMW	892
3	フォルクスワーゲン	663
2	メルセデス・ベンツ	759
4	アウディ	315
5	ボルボ	210
6	プジョー	100
	その他	1,763
	合計	4,704

注：メーカー別保有台数は、令和3年3月末現在における(一財)自動車検査登録情報協会及び(一社)全国軽自動車協会連合会の集計数字(小型特殊自動車及び原動機付自転車を除く。)より算出した。

※ メーカー別保有割合の順位は、不具合件数上位6社において順位付けしたもの。全社での保有台数上位6社を示したものではない。

(付録) 令和3年度ユーザー不具合情報における衝突被害軽減ブレーキおよびペダル踏み間違い急発進抑止装置に関する統計結果について

令和3年度にユーザーから国土交通省に寄せられた自動車の不具合情報のうち、衝突被害軽減ブレーキ及びペダル踏み間違い急発進抑止装置に関する不具合情報と思われるものを統計的にとりまとめたので、その結果を報告いたします。

なお、この統計結果はユーザーの申告による不具合情報を元にしており、国土交通省として不具合情報の内容について事実関係を保証しているものではありません。

1. 衝突被害軽減ブレーキ

令和3年度に衝突被害軽減ブレーキに関する不具合情報は66件あった。

(1) 車種別件数

(件)

車種 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
乗用車	9	39	0	48
軽乗用車	3	12	0	15
貨物車	0	0	0	0
軽貨物車	1	2	0	3
合計	13	53	0	66

(2) 被害別件数

(件)

被害 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
物損事故	10	0	0	10
人身事故	1	1	0	2
事故なし又は不明	2	52	0	54
合計	13	53	0	66

(3) 物損事故

(件)

車種 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
乗用車	7	0	0	7
軽乗用車	2	0	0	2
貨物車	1	0	0	1
軽貨物車	0	0	0	0
合計	10	0	0	10

(4) 人身事故

(件)

車種 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
乗用車	0	1	0	1
軽乗用車	1	0	0	1
貨物車	0	0	0	0
軽貨物車	0	0	0	0
合計	1	1	0	2

2. ペダル踏み間違い急発進抑止装置

令和3年度にペダル踏み間違い急発進抑止装置に関する不具合情報は7件あった。

(1) 車種別件数

(件)

車種 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
乗用車	4	2	0	6
軽乗用車	0	1	0	1
貨物車	0	0	0	0
軽貨物車	0	0	0	0
合計	4	3	0	7

(2) 被害別件数

(件)

被害 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
物損事故	4	0	0	4
人身事故	0	0	0	0
事故なし又は不明	0	3	0	3
合計	4	3	0	7

(3) 物損事故

(件)

車種 \ 事象	不作動	不要作動	その他	合計
乗用車	4	0	0	4
軽乗用車	0	0	0	0
貨物車	0	0	0	0
軽貨物車	0	0	0	0
合計	4	0	0	4

(4) 人身事故

人身事故に至った不具合情報はなかった。